

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～

令和7年度、春は、適度な暖かさと寒さを繰り返して、ゆっくりと進んでくれたようだ。こんなに長い期間、桜を目にできるのは何年ぶりだろう。入社式にも入学式の日も、いい写真が撮れたことだろう。大多喜の田んぼには早くも水が張られ、水面に白い雲と逆さになった新緑の山々が映っていた。

新宿公園は、今年も桜やこぶし、水仙が姿を現した。新しい年度があちらこちらで始まっている。

【令和7年度 新宿公民館職員です】

迎浩二(館長5年目になります。まだまだ未熟ですがもう少し務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。)

大石登子(皆さまこんにちは！“盆おどら～”の大石です。今年も皆さんに「参加したい♥」と思っただけの講座ができるようがんばります。今年も、7月に「夏の盆踊り予習会」をやります！一緒に楽しく踊りましょう🌸)

鴫田芳朗(今年度も継続です。利用者の皆様に負けないパワーと笑顔をもっとに張り切ります。よろしくお願いします。)

クラブ連絡会の新役員さんです

令和7～8年度のクラブ連絡会の役員さんが決まりました。11月に行われる文化祭の準備が主な活動になるかと思います。定期利用団体全会員の代表ですので、皆様の協力が不可欠です。どうぞ、よろしくお願いします。

会長 山本まり子さん(千葉わかば水墨会)
副会長 山本太美恵さん(囲碁の森)
書記 秋廣淳子さん(アルティー新宿)
書記 長嶋真理子さん(ピカケフラサークル)
会計 西岡久子さん(絵手紙同好会)
会計 山本節美さん(柚木茶道会)

主催事業報告 3/26(水)～28(金)

「新宿地区子ども会リーダーズ研修会」

恒例の子ども会宿泊研修会が、長柄町にある千葉市少年自然の家で行われました。今年子ども会に所属している6名の小学生が、



令和7年度 第1号
令和7年4月14日(月)
発行 千葉市新宿公民館
住所 中央区新宿 2-16-14
電話 043-243-4343

中高生の先輩や大人になった大先輩方と、二泊三日の生活を共にしました。屋内、屋外でのレクリエーションやキャンプファイヤー、野外炊飯などをとおして、人との接し方やリーダーとしての心構えなどを、身をもって体験できたのではないかと思います。同じ道を歩んできた先輩方の振る舞いや会話の一つ一つが、これから子ども会をリードし続けていく力になることを願っています。少年自然の家の敷地は、ウグイスの鳴き声と春爛漫の花々に包まれていました。



主催事業報告 4/12(土)

「コーヒーで豊かなひとときを」

さかもとコーヒー店のご主人に、コーヒーに関する様々な話題や、おいしいコーヒーの淹れ方など、細やかに説明していただきました。さかもとさんが淹れる3種類のコーヒーを、各自持参したお菓子とともに味わい、ゆったりとした時間となりました。

アンケートの一部を紹介します。

・のんびりとした空気の中、と～っても美味しいコーヒーをいただくことができて大変満足。
・お菓子をつまみながらコーヒー、幸せでした。家でもやります。
・思ったより簡単な淹れ方を知ったので家でもやってみます。
・おいしいコーヒーをいただきながら、先生のお話を楽しく聞いて、ゆったりと。
・コーヒーの香り漂う中の幸せな時間でした。
・カフェが好きで自分で調べたりお店巡りをしていたのですが、産地に行ってお豆を選び焙煎している人の話を聞いたことがなかったのでとても興味深く、思わぬ出会いに感謝しています。
・この講座を参



加無料で開催してくれる精神が素晴らしいです。ありがとうございました。・大変満足した講座でした。コーヒーの奥深さを感じました。・講師の方が素晴らしく、よかったです。・コーヒーの味はもとより、楽しいお話が聴けて、充実した時間でした。・コーヒー豆について話が聴けたことや、カフェプレスの淹れ方について知れたことが良かった。・さかもとさんの話がおもしろかった。コーヒー3種類テイastingできて違いがわかった。・気さくなお話と超おいしいコーヒーをいただきました。また参加したいです。・大変楽しい講座でわかりやすく教えてくださりありがとうございました。・聞きたいことを気軽にたずねられる雰囲気で大変楽しかった。・いろいろ質問させていただいて、ありがとうございました。コーヒーのある空間、とても楽しかったです。

スタートライン・・・

4月になってすぐの頃、車のラジオから海援隊の曲が流れてきました。軽やかなイントロから始まりました。新入生、新社会人に向けて“さあ、新たな年度の始まり。目標をもって気分一新頑張ろう。応援してるよ・・・”みたいなメッセージソングが流れてくるのだらうと思って聴いていると・・・。

(1番の歌詞を紹介します)

夜明け前の薄暗い道を
誰かがもう走っている
拾った小石で誰かが書いた
アスファルト道のスタートライン
寒い身体を言い訳にして
街は眠ってる曇り空の朝に
自分の汗で自分を暖めている
寂しさ目指して走る人がある



いま私たちに大切なものは
恋や夢を語り合うことじゃなくて
一人ぼっちになる為のスタートライン

金八先生でおなじみの武田鉄矢さんが歌う「スタートライン」という曲です。海援隊の曲は武田さんの思いを込めた歌詞が印象的です。「母に捧げるバラード」は、この歳になると何度も聴きたくなる曲です。人の心にまっすぐに訴えてきます。

「スタートライン」の最後、「一人ぼっちになるためのスタートライン」がいつまでも耳に残りました。新年度に向けた応援歌なのかと思いきや、人は、一人になること、一人生きることに覚悟のようなものを、さりげなく、でもきっぱりと、真っ直ぐに伝えているように思います。それを自分の中にしっかり

持って、新しい世界へ行くんだよ、踏ん張るんだよ、と語りかけてきます。“友達がいないと生きていけない”、“自分を理解してくれる人がいてほしい”、“スマホは手放せない”……。近頃は、常にとつながっていないと不安で仕方がないという風潮が、一部にあるように感じています。でも『人は一人で生まれて一人で死んでいくのです。』（ある有名作家の言葉から）順風満帆な人生を送っている人は果たしてどのくらいいるのでしょうか。くじけることの連続を経験しながら、それでも懸命に生活している人がほとんどでしょう。毎日何万回も繰り返される『判断』を人は自分で下します。その瞬間は一人ぼっちです。

この曲が使われた「ドラマ金八先生シリーズ」には賛否両論あるでしょう。でも武田鉄矢さんが書いた歌詞には、今も昔も変わらない大切な想いが込められているように思います。

2番、3番と続く歌詞にも考えさせられます。どうぞ調べてみて、その意味を味わってみてください。

・・・続き・・・

「スタートライン」を挿入歌とした「ドラマ金八先生④」の22年ほど前、私は青春ドラマを夢中で見ていた中学生でした。その挿入歌「ふれあい」で『人はみな ひとりでは 生きていけないものだから～』と中村雅俊さんが寂しげに歌っていて、自分なりに“そうなんだあ～”と考えていたように思います。

「スタートライン」とは対極の歌詞ではありますが、どちらにも共感しています。ひとりでは生きていけないけれど、孤独に生きているのかなあ。

皆さんはどう思いますか？

春真っ盛り



【新宿公園の花々】



【公民館裏庭のチューリップ】

5年目のかばん 陽春に馴染みて

(新宿公民館 館長 迎 浩二)